



hida

広 報

ひだ

町 木



第42号

肥 田 町
まちづくり委員会
H19.1.1 発行

謹賀新年

年頭にあたって



新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は平成も十代最後の年となりました。振り返ってみれば、バブルに明けバブルに苦しんだ平成の世ですが、ようやく経済にも明るさが見え、戦後最長の景気拡大局面となりました。個人所得や個人消費、公経済に不安もありますが、少なくとも経済全体が明るくなったことは大変喜ばしいことと思います。

しかし、その一方で、雇用形態の多様化に伴う所得格差や地域間格差、急激な人口減少と超高齢化社会、脆弱な公経済などなど非常に困難な社会問題も発生しています。また、世界のどこ彼処で発生する国際紛争や北朝鮮問題、地震や風水害への防災対策、乳幼児虐待事件や少年少女自殺事件など、私たちの身の安全を脅かす多くの不安材料も抱えています。

こうしたことを考えますと、今や時代の潮流となつていく自主、自立の精神を大切にしながら、それぞれが如何に助け合い、安心できる地域社会を創り上げていくかは、私たちに与つての喫緊の課題であると思います。今こそ田舎の良さを再発見し、再構築する必要があるのでは

自治会長 森 田 喜久雄

ないでしょうか。誰もが安心できる社会であるために、地域の絆、家族の絆を大切にすること、自治会活動への一層のご協力をお願いするものでございます。

ところで、昨春、着工された團場整備事業も順調に推移し、今や上田の眺望も大きく変化して参りました。皆様方の叡智とご協力に改めて深く敬意を表し、事業完了時に誰もが良かったと思える團場整備であつて欲しいと強く念じ、皆様方の一層のご尽力とご協力をお願い申し上げます。

終わりになりましたが、今年は亥歳です。猪は、古来、無病息災の象徴とされていますが、肥田町の皆さまが、この一年、猪のように無病息災でありますように強く念じますとともに、新たな自治会法人が夢をもってスタートできますことを祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



おめでとう
ございませう

益々のご発展を
お祈り申し上げます。
(敬称略・順不同)

成人

昭和61年生

大村 将司
藤野 直樹
矢守 洋一
成宮 裕斗
鵜野 千秋

喜寿

昭和6年生

薩摩 肇
高瀬 俊英
鵜野 徳男
藤野 泰弘
松村 綾子
藤野 育枝

還暦

昭和22年生

薩摩 直弘
藤野 真理
藤野 喜代蔵
宮川 喜弘
森野 光夫

傘寿 昭和3年生

元持正三 山本長蔵
西田静子 成宮はる子
大村繁子 鵜野豊子
成宮みよ 北野文子
鹿島朝子

古稀

昭和13年生

藤野 俊雄
宮川 統治
高瀬 弘子

米寿 大正9年生

岩尾与四太郎
薩摩高子 鹿島英子

平成19年 成人の日を迎えて

矢守 洋一 (父・貴二)

新年明けましておめでとうございます。二十歳を迎え、今までは甘えてきた部分もありましたが、これからはより一層責任感のある人間に成長できるように頑張っていきたいと思っております。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

藤野 直樹 (父・隆司)

新年明けましておめでとうございます。成人を迎えて、これからは自分自身の行動に責任をもつて毎日が過ごせたらと、しっかりと歩んでいきたいと思っております。

成宮 裕斗 (父・敏和)

新年明けましておめでとうございます。私は、スポーツ選手に携わる医療人になりたいと思ひ、知識、技術を高めるための勉強中です。楽しさを忘れず、人との繋がりを大切に、経験を積んでいきたいと思ひます。

鵜野 千秋 (父・忠)

皆さま、明けましておめでとうございます。二十歳を迎えて、自分自身の行動に責任をもつて、がんばっていききたいと思ひます。これからどうぞよろしくお願ひします。

大村 将司 (父・吉継)

新年明けましておめでとうございます。今年、二十歳を迎え、未だ学生ですが、あと2年後には社会に出ます。そのために一生懸命、勉強に励み、自分の夢に向かって頑張りたいです。今後とも応援よろしくお願ひします。



万葉歌碑前

既に皆さんもご存知のように、平成19年は国宝彦根城築城400年の年に当たり、400年祭実行委員会では盛り沢山の記念イベントが計画されています。その前哨となるプレイベントとして標記の「テクテク彦根」ウォーキング自然探訪コースと歴史探訪コースが企画されました。今回のコース選定には、その運営にも当たられる地元稲枝商工会さんの強い推薦の賜物と深く感謝しております。私も肥田町まちづくり委員会では早速に自治会の支援も得て10箇所、史跡説明立札の案内文も、より分かり易く改訂を図り、また知名度の高い「水攻めの碑」などの改修も行い、加えてガイドさんとして応援いただく聖泉大学の学生さんへの研修会も開くなど、準備を整え、開催当日10月14日を迎えました。当日は、ラジオや新聞で応募された80名の方がバス3台に分乗し歴史探訪ウォーキングコースで豊郷の豊会館を終



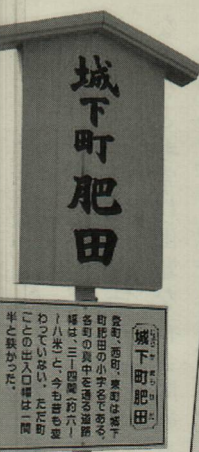
記念スタンプ



水攻めの碑



歴史資料の説明 於:公民館



国宝 彦根城築城400年祭記念キャンペーン

幸せな風景に出会える
「テクテク彦根」ウォーキングイベント

歴史探訪コースに肥田町史跡めぐりが選ばれた

えて肥田町を訪ねて来られました。先ず入り口の宇曾川高橋で出迎え、早速に城下町肥田の説明に始まり、次いで肥田町公民館で肥田の歴史資料館から運び込んだ歴代の城主の肖像画や元禄二年の肥田、野良田の合戦屏風、肥田城図など高瀬委員から特色豊かな肥田の歴史、文化の説明がありました。その後で史跡めぐりと廻られています。訪ねられた人々からは「もう一度ゆつくりやってきたい」の声も多くあり、この日は肥田町の存在感を大きく飛躍させる意義の深い一日となりました。肥田町は独自の歴史と文化に育まれた素晴らしい皆さんの町です。これからもみなで力を合わせて「住んで良かった町、住み良い町」を目指して守り続けて行きます。



町の活動風景



肥田町敬老会風景 11/12



和み会風景 12/4 (ボランティアサークル)



肥田町文化祭風景



稲枝まちおこしフェアイベント 聖泉大学「はじめ」の「よさこい」



稲枝地区文化祭 菊花展出品 一等 辻野茂さん